

## 石川県巨樹の会

## 金沢散歩学 まちなかの巨樹をめぐる－東山編－

日 程：令和7年8月10日（日）

橋場町緑地 集合8：20（8：30 開始）

場 所：金沢市 東山界隈）

No.	名 称	指 定	幹周 (m)	樹高 (m)	所 在 地	備 考
①	久保市乙剣宮 ケヤキ	金沢市 保存樹	3.88	20	金沢市下新町6-21	中世に当社前に市場が形成されたことから「金沢における市場発祥の地」とされ、商売繁盛の神様として崇敬を集めている。 文豪泉鏡花の生家が近くにあり、幼い頃この境内でよく遊んでいたとのこと。
※	暗がり坂					久保市乙剣宮の境内から主計町へ下る薄暗い石段で、別名暗闇坂という。 旦那衆が人目を避けて主計町の茶屋に通った道で、泉鏡花もよく通ったと言われている。
②	源法院 シダレザクラ				金沢市主計町1番6号	主計町茶屋街にある真言宗のお寺、源法院は弘法大師によって約1200年前に建てられたという言い伝えがある。 春になると通り沿いのシダレザクラが咲き、まちに彩を添える。
③	並木町のマツ並木	県指定			金沢市並木町	大小合わせて18本のクロマツが、県指定天然記念物となっている。 藩政時代浅野川の護岸を守るために川沿いに植えられた松並木にちなんで、この名がついた。
④	梅の橋				金沢市並木町	犀川の桜橋に対してその名がついたともいわれている梅の橋。 付近は泉鏡花の出世作「義血侠血」の舞台にもなっており、作品にちなんだ滝の白糸碑や滝の白糸をかたどった像が建てられている。
⑤	ひがし茶屋街					文政3年(1820)に茶屋を集めたのが始まりで、伝統と格式を誇り、文人や裕福な商人たちの社交場となる。 平成13年に国の重要伝統的建造物群保存地区に選定され、「街並みの文化財」として保存策が進められている。
⑥	宇多須神社 モミノキ				金沢市東山1-30-8	利長公が境内に卯辰八幡宮を建てて利家公を祀っていたが、明治時代には利家公は尾山神社に祀られたため卯辰社と改称し、その後宇多須神社となる。 近年、北陸大学生のアイデアにより、境内に忍者が潜む神社として有名となり、海外からの参拝者も多い。
⑦	慈雲寺 スイリュウヒバ	金沢市 保存樹	1.88	8	金沢市東山2-10-10	富田景政と今井彦右衛門が七尾の所口で建立し、利家に仕えた富田景政は、富田流剣法を興し藩の御流儀とされた。 利家が居城を金沢に移したため、富田家も元和元年(1615)金沢に移り、慈雲寺も同地に移転した。
⑧	西養寺 ケヤキ、ヒマラヤスギ	金沢市 保存樹林	2,190本		金沢市東山2-11-35	利家に愛されたとされるお寺で、元々福井県にあったが利長に従って射水、富山、高岡と寺地を移し、最終的に金沢に建立した。 社寺林のケヤキやエノキの高木とツバキやヒサカキなどの低木併せて2,190本が金沢市の保存樹林に指定されている。